

News Letter

さじアストロパーク（鳥取市佐治町）

農山漁村でがんばる女性たち

男女雇用機会均等法が施行され、ほぼ四半世紀が経過しました。3月10日の「農山漁村女性の日」(※)の制定を期に、農林水産業でがんばる女性たちに注目しました。

※「農山漁村女性の日」は、多くの方に農山漁村の女性の役割を正しく理解していただくとともに、女性の能力発揮を促進することを目的として定められています。

佐治の梨のおいしさを広めたい！

－ 手づくり梨工房（鳥取市佐治町） －

鳥取市南西部の山間地に位置する佐治町（さじちょう）は、梨の栽培が盛んに行われています。糖度や味は十分でも、大きさが不揃いだったり傷が付いたことなどから下位等級品にされてしまうものがあります。栽培農家が大切に育てたそんな梨を何とか生かしたいとの思いから、平成14年に梨生産者と地域の女性からなる「さじシャーベットグループ」が結成され、佐治町特産の二十世紀梨の下位等級品を利用した加工品開発と商品化が始まりました。梨シャーベットや梨あめ、梨ジャム、梨ピューレなどの商品化は佐治梨のブランド力の拡大に繋がっています。平成15年に営業許可を取得、平成16年には組織名を「手づくり梨工房」と改名し、現在に至っています。梨シャーベットは無添加、防カビ剤不使用で、一つ一つていねいに手作業で作られ、「二十世紀梨」「新水」「豊水」「新興」「あたご」「洋梨」を使い、ももや桜の花の入ったものもあり、8種類の風味が楽しめます。平成17年には「梨シャーベット」で商標登録を取得し、鳥取県の特産品として



▲ 【作業の様子】

幅広い販売を展開。平成18年には、学校給食のデザートとして提供され、地産地消の促進にも貢献しています。このような取り組みにより、平成19年度には、農家の所得向上や雇用の創出、地域特産物のブランド化の実現など、優れた活動として、「農山漁村女性チャレンジ活動表彰最優秀賞（農林水産大臣賞）」を受賞しました。これからは地域の活性化につながればと、佐治の梨のおいしさを広めたいとしています。

連絡先：手づくり梨工房

鳥取市佐治町加瀬木2237-1

TEL/FAX：0858-89-1933（長谷商店内）



佐治町特産の「二十世紀梨」



佐治町の梨を100%使った「梨シャーベット」



15kgから3kgしか作れない、なつかしい味の「梨あめ」

※ 農林水産省では、平成24年度から6次産業化関連等の一部事業において、女性が優先的に利用できる予算枠を設け、女性による新商品開発や販路拡大、加工施設の導入などの取り組みを支援するとともに、女性のネットワークづくりや企業経営者等との交流会づくりを促進するなど、女性のための施策を充実させました。農林水産省は6次産業化をキーワードに、事業のアイデアをふくらませ、新たなものづくりに挑戦する女性たちを応援します。

○平成24年度農林水産省予算概算決定の概要はこちらをご覧ください。→ <http://www.maff.go.jp/j/budget/2012/kettei.html>

○農林水産省の6次産業化はこちらをご覧ください。→ <http://www.maff.go.jp/chushi/sesaku/sixth/index.html>

「一日農政局in八頭」

～地域を活性化するための6次産業化への取組について～

1月27日、中国四国農政局は八頭町の八頭町船岡庁舎において、6次産業化に取り組む事業者、6次産業化プランナー、県や町の担当者、関係団体等と「地域を活性化するための6次産業化への取組について」をテーマに、一日農政局を開催しました。國弘局長のあいさつの後、八頭町長から同町の農業の現状等についての報告に続き農政局から話題提供を行い、6次産業化に取り組む事業者等から取組状況等の発表を受け、意見交換を行いました。意見交換では、事業者から、消費者から評価される加工品の商品化への取組や商品の販路を確立する難しさ、安定的な雇用が課題であること、地域に消費者を呼び込むためには行政の協力が必要であり6次産業化に当たり柔軟な支援を求める意見があり、県からは6次産業化



【國弘局長あいさつ】

の支援策の説明が行われました。最後に、國弘局長が、「八頭町の個々の事業者の6次産業化の取り組みを事業者全体で連携し、点から線、面の取り組みにすることで町全体を盛り上げていくことが非常に大事。」と締めくくりました。

ふるさと元気だより

「大山ハーブ」を地域の新たな特産品に！

平成22年5月、大山町内の茶栽培農家が集まり「大山ハーブティー開発研究会」を結成し、キク科の「エキナセア」というハーブの試験栽培を始めました。「エキナセア」は、抗ウイルス作用があるとされており、北米の先住民が民間療法薬草として使用してきました。国内ではほとんど認知されておらず、目立った産地もありません。そこで、同研究会が大山の火山灰でできた肥沃で柔らかい土壌を



▲【商品化された「エキナセアハーブティー」】

活用して「エキナセア」の栽培に取り組みました。栽培は耕作放棄地を活用

— 大山ハーブティー開発研究会 —

し茶栽培で培ったノウハウを応用して行われています。また、ハーブティーの商品化に向けては、日本人好みに合わせるため、ブレンドの割合を研究するなど試行錯誤を重ね、平成23年11月に「大山エキナセアティー」の販売を始めました。今後、ハーブをサプリメントとして商品化する計画もあり、「エキナセア」を大山町の新たな特産品「大山ハーブ」として広め、高齢化が進む地域の活性化につながればと、栽培面積を拡大し一大産地を目指すとしています。



▲【エキナセアの花】

インフォメーション

各地域の「人と農地の問題」を解決しましょう！ 【人・農地プラン（地域農業マスタープラン）、新規就農、農地集積】

皆さんの集落・地域では、高齢化や後継者不足、耕作放棄地の増加などの問題がありませんか。農林水産省ではこのような「人と農地の問題」の解決に向けて取り組まれる集落・地域の皆さんの一助となるよう、新しい施策を用意しました。こうした施策もうまく活用して、各地域の「人と農地の問題」を解決していきましょう。詳しくはこちらから → <http://www.maff.go.jp/chushi/keiei/koukai/index.html>

編集：中国四国農政局 鳥取地域センター

〒680-0845 鳥取市富安2丁目89番地4 鳥取第1地方合同庁舎

TEL (0857)22-3131(内線622) FAX(0857)37-0428 <農政局HP><http://www.maff.go.jp/chushi/>

◆各種メールマガジンを配信中(登録はこちらから) <http://www.maff.go.jp/chushi/mailm/index.html>